

サクツ!とわかる 経営学部

経営学部と経済学部のちがいがわかる本

side: 経営学部

RYUKOKU.

← 経済学部は裏面へ。

大学の学部を選ぶとき よくあるギモンが 「経営学部」と「経済学部」のちがい。

「1文字ちがいだし、勉強することも似てるのでは？」

「自分の夢をかなえるためには、どっちを選んだらいいの？」

「そもそも、自分がどっちに興味があるのかわからない」

そんなみなさんのギモンに答えるため

経営学部と経済学部の

代表的な4つの科目をご紹介します。

きっと謎が解けるはず。



経営学を一言でいえば、 会社の活動について学ぶ学問です。

たとえば、今注目のヒット商品があったとして

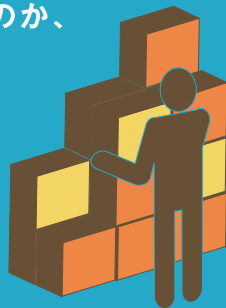
どのような発想で開発されたのか、どのようにして価格を決めたのか、

流通や販売でこだわったことは何か、

売り上げたお金はどのように使われているのか、

という会社の戦略や運営のしくみなどを学びます。

世の中のすべての商品、サービスが教材になります。



さあ、経営学部の世界へようこそ。



マーケティング

写メール誕生の秘密

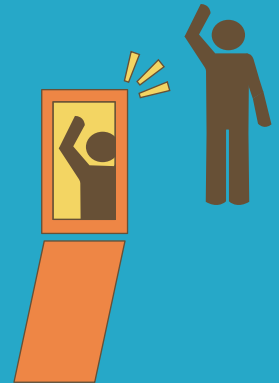


人々が本当に求めるものを
探求する。



今や当たり前になった、携帯電話のカメラ機能ですが、
発売当初は「携帯電話にカメラをつけても売れない」というのが常識でした。
その頃のカメラ付き携帯といえば画質は悪く、カメラの機能は低く、売れ行きは絶不調でした。
そんなとき、ある携帯会社の社員が思いついたのが
「写真をメールで送れたらもっとおもしろいのではないか？」ということ。
「どうせ売れないだろう」と疑う周囲を説得し、カメラ付きとカメラなしの2種類を発売すると、
カメラ付き携帯の圧勝でした。利用者がまだ気づいていない「求めているもの」を
見事に見抜いたことが、爆発的なヒット商品の鍵となったのです。

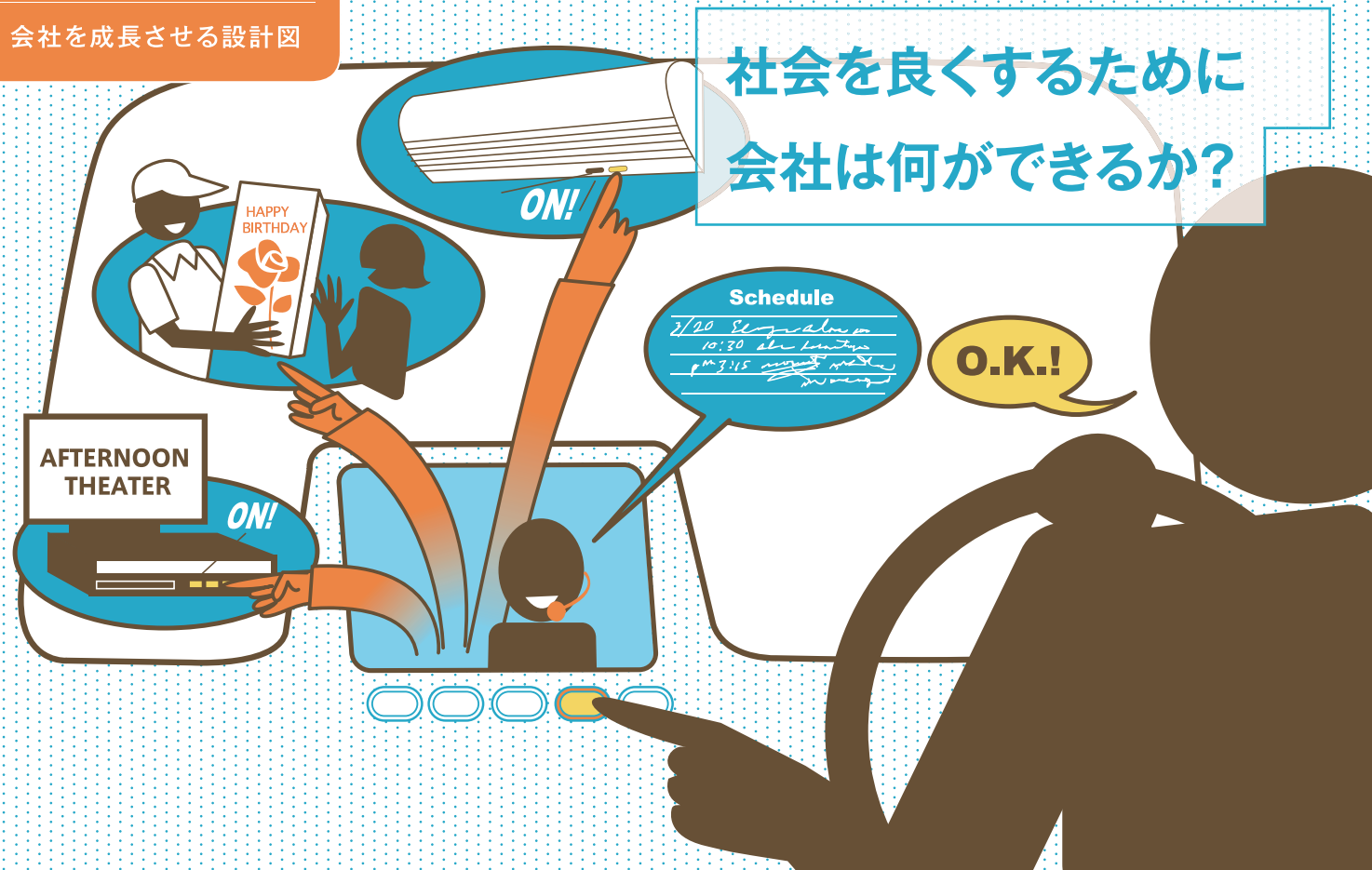
**「マーケティング」とは、
人々が本当に求める価値や満足を
見つけることです。**



経営戦略

【経営管理】

会社を成長させる設計図





クルマは未来に向かってどんどん進化しています。

たとえば、今までの「走るクルマ」から「走るコンピューター」へ

現在、世界の自動車会社はIT企業と提携し、新時代のクルマの開発に取り組んでいます。

クルマの中にいながら家庭の電化製品を遠隔操作したり、

街のお店に商品をオーダーしたり、クルマと会話しながらドライブを楽しんだり・・・。

SF映画に出てくるような、まったく新しいクルマの魅力を創ることは

より豊かでワクワクする便利な社会をもたらすとともに

自分たちの会社も大きく成長させる設計図にもなるでしょう。

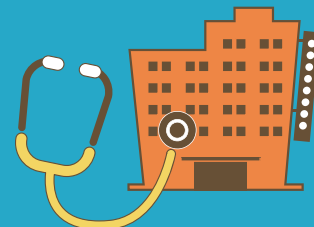
**「経営戦略」とは、
より豊かな社会を創ることで
自分の会社も成長させることです。**



経営状態をチェックする
数字のプロ。

良い健康状態を保ち、大きな怪我もしない人は長生きできるように
順調に利益を上げ、大きな借金を抱えていない会社は、長期的に経営が続けられます。
仮にみなさんが医学部に入学したら、人の身体のしくみを学び、
病気を治したり予防したりする知識と技術を身につけるでしょう。
経営学部で会計学を学ぶときには、企業の活動を支えるお金のしくみを理解して
経営状態を診断し、企業を成長させる手法を修得します。
人でいうと「健康診断書」にあたる「財務諸表」などの作成を通じて、
経営上の問題点を発見し、解決への方法を分析する、数字のプロをめざします。

**「会計学」とは、
お金の観点から経営を管理する
ドクターの役割を果たします。**



経営情報

経営学の視点を持つこと





携帯電話の普及率は90%以上、数年もすれば約半分がスマートフォンに移行する勢いです。

その特徴はインターネット接続に便利で、パソコン並みの情報量を扱うことができること。

さらに、テレビやデジタルカメラもネットにつながるようになってきました。

ネット通販やオークションなど新しいシステムが、個人のショッピングを変えたように

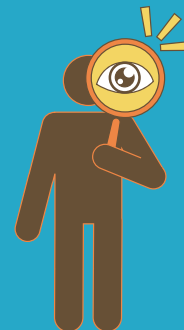
今、世の中のさまざまな常識や方法は、劇的に変わりつつあります。

経営情報で取り扱うのは、このようなネットワーク社会を前提とした新しいしくみです。

企業の運営には直感も必要ですが、それだけでは十分ではありません。

膨大な情報から原石を取り出し、宝石へと磨き上げる経営学の視点が重要なのです。

**「経営情報」とは、
莫大なデータから有益な情報を見つけて活用することです。**



Voice from graduates

経営学部OB・OG

内藤 英信さん

株式会社JTB西日本 京都支店 営業2課
経営学部 経営学科
2008年度卒業

法人のお客様に対して、旅行の企画から添乗までを担当する涉外営業を担当しています。

学生時代はチャレンジできることはすべてやってみようと思がけていました。4年間少林寺拳法部の活動に打ち込み、龍谷祭や降誕祭の実行委員会にも所属。とてもハードでしたが、経営学部の授業と両立しながら、組織を動かす難しさや価値観が違う者同士が理解しあい、1つの目標に向かう多くのことを具体的に学ぶことができました。

就職すると毎日いろんな壁に直面しますが、学生時代の体験はそれ乗り越える大きな力。途中で挫折しても、やらないよりは絶対に役立ちます。人生は一度、後悔しないためにも4年間を有意義に過ごしてください。

大学時代の経験は大きな糧。チャレンジを忘れずに！



視野が広がる大学だから、新しい自分が見つかります。

林 美月さん

ローム株式会社 管理本部
経営学部 経営学科
2009年度卒業

来客対応が中心の仕事で、お客様に合わせたお食事やお土産の手配・会議進行のサポートを担当しています。3年目になり、お客様に喜んでいただく機会も増え、やりがいを感じています。

大学時代、授業では、スーパー銭湯の市場調査、経営学部ゼミナール連合会では、龍谷大学初となる学生企画による講演会を開催したりと充実した日々を過ごしました。

また、就職支援団体として就活セミナーの企画・運営を実施。世代も分野も違う多くの方と出会い、「人とのつながりの大切さ」を学んだことが仕事の基礎になりました。

龍谷大学は学生の新しい挑戦を常に応援してくれる場所。経営学部はひとつの分野に留まらず様々なことを学ぶことができ、学生だからできることも一杯あるので、自分のやりたいことに思いきって挑戦できますよ。